

平成31年 2月

# 藤田章啓 学位論文審査要旨

主 査 千 酌 浩 樹  
副主査 藤 井 潤  
同 永 島 英 樹

## 主論文

Utility of CD64 on neutrophils in orthopedic infection

(整形外科感染症における好中球上CD64の有用性)

(著者：藤田章啓、谷島伸二、加藤芳弘、豊島良太、永島英樹)

平成30年 Yonago Acta Medica 61巻 228頁～236頁

## 参考論文

1. 小指球ハンマー症候群との鑑別を要した手掌静脈血栓の1例

(著者：藤田章啓、山下英樹、遠藤宏治、山下優嗣、永島英樹)

平成26年 整形外科と災害外科 63巻 589頁～592頁

2. 手・前腕における非定型抗酸菌症の治療経験

(著者：藤田章啓、山下優嗣、遠藤宏治、林原雅子、永島英樹)

平成26年 日本手外科学会雑誌 31巻 283頁～286頁

## 審査結果の要旨

本研究は好中球上CD64分子の、整形外科領域感染症の診断における有用性を、従来の感染マーカーと比較して評価したものである。本研究の結果、CD64は概ね従来の感染マーカーと同様の動向を示した。CD64は関節リウマチ患者や術後早期の感染症診断において、病勢や手術侵襲の影響を受けないため、非常に有用な感染マーカーであると報告されてきたが、その他の病態における有用性について評価した報告はなかった。本論文の内容は、CD64が整形外科領域の感染症診断における新たなマーカーとなりうることを示唆しており、明らかに学術水準を高めたものと認める。